

野田市歯科口腔保健計画（素案）に対する意見募集の結果について

パブリック・コメント手続によって寄せられた意見と市の考え方は、次のとおりです。

1 政策等の題名

野田市歯科口腔保健計画（素案）

2 意見の募集期間

平成28年9月20日（火）から平成28年10月19日（水）まで

3 意見の募集結果

提出者数・意見数	3人	8件
提出方法	直接持参	1人 1件
	郵送	0人 0件
	FAX	0人 0件
	Eメール	2人 7件
政策等に反映した意見		1件

4 意見の概要と市の考え方

No	意見の概要	市の考え方	案の修正
全体			
1	生涯を通してお口の健康を意識できることは、いいことだと思います。子どもの虫歯だけでなく、歯肉炎予防は、将来大人になった時の歯周病予防につながって行くことになり、大切だと思います。	御意見のとおり、歯や口腔の健康を維持するためには、ライフステージごとの取組みが大切であり、このため、乳幼児期から高齢期までの各世代に応じ、むし歯予防、歯周病予防等に取り組むこととしております。	修正無し
2	歯科については、個人の問題で役所が指導するのはいかなるものかと思います。これでは医療費の増大に拍車をかけるもので反対します。高齢者の健康管理にお金をかけるほうが良いと思います。	歯が悪い方は、糖尿病などの持病をお持ちの方が多いという医師の意見もあり、歯の健康は、全身の健康につながることから、歯科口腔保健の推進が、ひいては医療費の縮減につながるものと考えております。よって素案の修正は行いません。 なお、健康管理については、野田市健康づくり推進計画21を策定しており、全ての市民を対象に健康づくりの取組みを推進しております。	修正無し

No	意見の概要	市の考え方	案の修正
3	歯科での禁煙支援は歯科治療の一環として非常に重要です。喫煙者の禁煙をサポートするために、歯科（歯周疾患対応）の禁煙治療の保険適用の新設が重要ですので、中医協にこの保険適用を新設するよう、強い要請を期待します。	医療保険の適用範囲等については、国が治療の安全性や有効性を確認しその対象を定めており、その拡大や新設について市として要請を行うこと、保険適用外の治療に対し補助を実施することについては、必要性や費用対効果を含め慎重に検討すべきものであると考えております。よって、素案の修正は行いません。	修正無し
4	歯科治療は保険適用を外れ多額の自己負担があることが多く、歯と口腔の健康づくり推進にとって阻害要因となっています。例えば、子どもの歯科矯正治療は、子どもの成長にとって極めて大事なのに、数十万円の自己負担費用が発生し、負担できない保護者にとっても本人にとっても痛ましいことです。何らかの補助制度や、保険適用の必要性を、計画でも触れて進めていただくことを期待します。		修正無し
第2章 ライフステージ別等の現状、課題、目標および取り組み			
	1 成人期（妊産婦を含む） 2 高齢期		
5	喫煙と歯周病について、喫煙者は歯周病で歯を失う人が多くいます。受動喫煙でも同様のリスクがあり、禁煙により、本人及び周りの家族など受動喫煙者でも、歯肉炎・虫歯・歯喪失・義歯修正等の減少が期待され、末永くよく噛み味わえるようになります。このことの広報により力を入れ、施策と啓発を進めていただくことを期待します。	地域や職場・行政における目標を実現するための取組において、「喫煙と歯周病の関係についての知識の普及啓発と情報提供に努める」ことを掲げています。よって、素案の修正は行いませんが、喫煙と歯周病に関する普及啓発、情報提供について、健診や健康に関するイベントなどを通し幅広く取り組んでまいります。	修正無し
6	喫煙者への啓発だけでなく、健診・保健指導の新プログラムやがん検診、職域等の健診などでも、禁煙を積極的に勧める取り組みが必要です。		修正無し

No	意見の概要	市の考え方	案の修正
7	20歳、30歳代、未成年者への禁煙サポートに重点を置くことが求められています。		修正無し
8	歯周病以外に、口内炎や舌がん、食道がんなども喫煙・受動喫煙と因果関係が多々あり、これらも強調し、施策・啓発が重要です。	喫煙により口腔がん等の危険性が高まると言われていますが、その関係性については触れていないことから、前述の「喫煙と歯周病の関係についての知識の普及啓発と情報提供に努めます。」に <u>口腔がん等</u> を加筆し「喫煙と歯周病、口腔がん等の関係についての知識の普及啓発と情報提供に努めます。」に修正します。	修正有り